

【授業紹介】

学科・学年:社会福祉学科2年生(精神保健福祉士コース)と看護学科2年生

テーマ:リカバリーストーリーから学ぶ

*富山県ピア・フレンズ派遣事業として、2人の当事者の方と、コーディネーターの 2 人の精神保健福祉士の方にお越し頂きました。

昨年までは社会福祉学科(精神保健福祉士コース)のみを対象として、ピア・フレンズの方から学ぶ講座を受けていましたが、今年度は看護学科2年生と合同で講座を受けました。

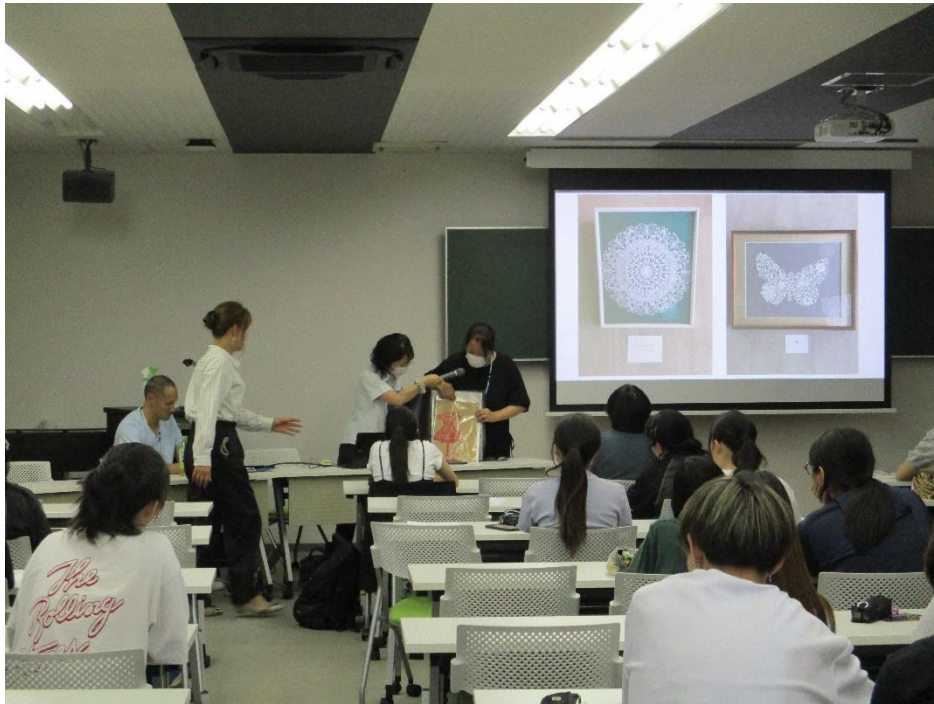


*ピア・フレンズ派遣事業とは

富山県が富山県精神保健福祉士協会に委託している事業で、地域で生活している精神障害者にピア・フレンズ講座を受講してもらい、地域の家族会や精神科病院、厚生センターの研修会などへ派遣している。

リカバリーストーリーの内容

当事者の方から、精神の病気を患ってからの10数年間を振り返ってお話して頂きました。発症した時や入院した時のこと、症状との闘いの日々、家族との関係、退院してからの生活、障害による生活のしづらさ、専門職(看護師や精神保健福祉士)との出会い、生きていてよかったと思えるまで、リカバリーのきっかけになったこと、ピアの人との出会いなどたくさんのストーリーを聞かせて頂きました。



リカバリーストーリーは心打たれる内容で、学生達はピアの方の語りに耳を傾け、真剣に聞いていました。当事者の方が作られた切り絵も見せて頂きました。

当事者の方と精神保健福祉士の方が一緒に、可能性を信じて様々なことに取り組んでおられる活動や、専攻科看護学専攻の長谷川先生から、うつ病の当事者の方のピアの集まりへの関わりなどもお聞きして有意義な時間となりました。

猛暑の中、お越し頂いた当事者や支援者の方に心より感謝いたします。学生にとって忘れられない授業になったことと思います。ありがとうございました。

担当 准教授 松尾祐子